

諏訪の景気動向

平成25年 5月

(平成25年 4月末 D・I調査)

平成25年 5月25日

岡谷市郷田二丁目1番8号

諏訪信用金庫

経営相談室

諏訪地方の景気動向（平成 25 年 4 月末）

「平成 25 年 4 月末アンケート調査および企業訪問ヒアリング調査からまとめた諏訪地方の景況」

諏訪地方 174 社のご協力を得て行った平成 25 年 4 月末の「景気動向調査(DI調査)」では、回答全社の「3ヶ月前」と比べた業況判断DIは 7.5 となり、前回調査時(平成 25 年 1 月末、以下同)の△39.3 から、46.8 ポイントの大幅改善となった。製造業の業況判断DIは 4.7 と、前回調査時の△39.2 から 43.9 ポイント改善し、非製造業(商業、観光・サービス業、建設業)の同DIも 15.2 と前回調査時の△39.6 から 54.8 ポイント改善した。また、「3ヶ月後」の業況予想DIは、製造業が 6.2(前回調査時 6.1)、非製造業が 30.4(前回調査時 13.9)で、回答全社では 12.7 だった。低調に推移していた前回に比べ、総体的に改善傾向となっている。ただ、原材料高騰を懸念する声が多く、雇用情勢も厳しいことなどから地域内の景況感は、それほど高まっていない。

製造業の「3ヶ月前」と比べた業況判断DIは 4.7 と、前回調査時(△39.2)から改善した。「前年同期」と比べた業況判断DIも△26.5 と、前回の△55.3 よりマイナス幅が縮小している。業種別の「3ヶ月前」と比べた受注状況DIでは、「輸送用機械」が△17.7(前回△56.3)、「精密機械」が△7.7(前回△27.3)と改善し、「金属製品」は 21.5(前回△50.0)、「電気機械」は 12.5(前回△15.4)、「一般機械」は 6.2(前回△41.9)とプラスに転じている。「3ヶ月後」の業況予想DIは 6.2 とほぼ横這いで、「3ヶ月後」の受注予想DIは 12.5 となり、前回調査時の 6.1 からさらに改善している。足元の厳しさの中で期待感が先行していた前回に比べると、徐々に改善企業が増えている。

ヒアリング調査では、「円安による好影響が出ている」「増産や新型への対応で設備投資を予定」「今後受注がある程度確保でき、目先は明るい」とする声がある。その反面、業種や取引先の動向、加工内容などによって「4 月としては近年で最低の水準」「海外シフトによる影響で受注が減少した」「現状は動きがない」「下請けではまだ円安効果は波及していない」という声も多く、格差が見られる。また、一様に円安による原材料の値上げに対する懸念があり「企業努力の範疇を超えている」とする声もあった。

商業の「3ヶ月前」と比べた業況判断DIは、「好転」の企業が 46.2%と前回調査時(21.4%)より増加し、「悪化」企業が 7.7%(前回 42.9%)と減少して、同DIは 38.5 で前回の△21.5 から大幅改善した。ただ、原材料の値上がりと価格転嫁への懸念の声が多い。鳥インフルや米国産牛肉の規制緩和など食肉への関心は高く、高齢者には高くても国産肉を購入する傾向も見られる。自動車販売は、諏訪地方の 4 月の車庫証明件数(軽自動車除く)は 895 台で、エコカー補助金があった前年同月比で 17 台(△1.9%)減少にとどまった。冬用タイヤの荷動きも早い。「3ヶ月後」の業況判断DIは、「好転」と「悪化」を予想する企業がともに 23.1%で同DIは 0.0 と、前回調査時(14.3)より悪化している。

観光・サービス業は、「3ヶ月前」と比べた業況判断DIは△5.0 で、季節要因もあって前回調査時(△58.8)から改善した。「前年同期」と比べた業況判断DIも 0.0 と、前回調査時の△29.5 から改善している。「3ヶ月前」と比べた稼働率DIは 5.0 と、前回調査時(△64.7)から改善した。諏訪湖周辺のホテル、旅館の宿泊客数は施設によって区々だが、前年同月比 90%~120%の所が多い。4 月下旬に野焼きが延焼して霧ヶ峰で起きた

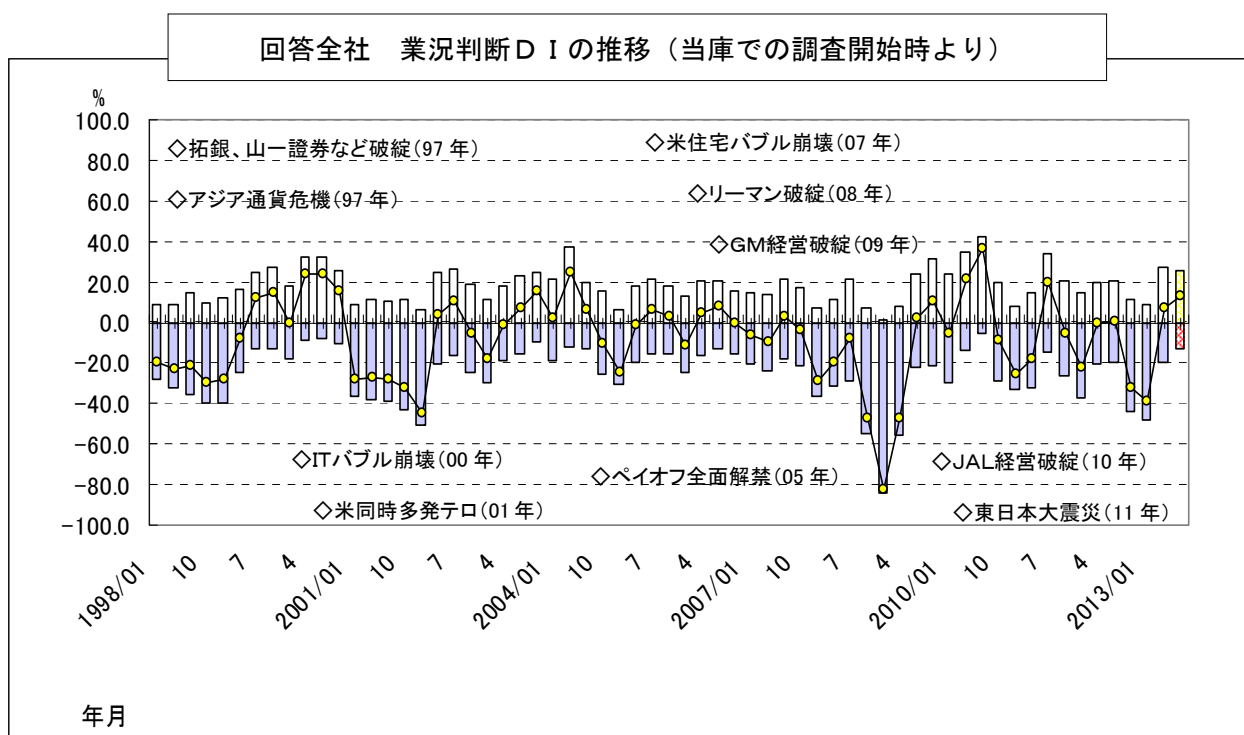
山火事は、レンゲツツジ群落などの花期の前で、環境や観光客への影響が懸念されている。本格的な観光シーズンに向かう「3ヵ月後」の業況予想DIは45.0で、前回の23.5よりさらに改善している。

建設業の「3ヶ月前」と比べた業況判断DIは、「横ばい」企業が76.9%と多いものの、「悪化」企業がなく、23.1と前回調査時の△33.3から改善し、プラスに転じた。「3ヶ月前」と比べた受注状況DIは補正予算による交付金効果などで前回の△33.4から38.5、「前年同期比」では前回の△25.0から23.1と改善した。「3ヶ月後」の業況予想も「好転」を見込む企業が多く、38.5となっている。

諏訪地方の平成25年3月の新設住宅着工戸数は63戸と、前年同月の54戸に比べ9戸(16.7%)増加した。平成24年度1年間の累計着工戸数は1,094戸で、前年同期累計比で62戸(6.0%)の増加となった。持家が4年ぶりに800戸台に回復し、消費増税前の駆け込み需要が出始めたとする声もある。

4月に地元業者が受注した国県関係の公共工事は20件883百万円で、前年同期比17件増、金額は823百万円、1382.6%の大幅増となった。市町村は合計61件、632百万円で6.7%増だった。

雇用状況は、平成25年3月の諏訪地方の有効求人倍率が、前年同月比0.09ポイント減少の0.74倍となり、長野県の0.82倍、全国の0.86倍を下回った。やや改善傾向の全国と長野県の差が開き、諏訪地方は厳しい雇用情勢が続いている。新規求人数(全数)は1,235人で前年同月比204人(△14.2%)の減少、新規求職者数は1,185人で前年同月比99人(△7.7%)の減少となっている。産業別の前年同月比の新規求人数は、建設業が30.9%、飲食店・宿泊業で24.6%増加したが、その他サービス業で43.5%、運輸業で35.5%、製造業では20.5%それぞれ減少した。また、1件10人以上の人員整理は2件47人で、事業主都合による雇用保険資格喪失者は82人と、前年同月より2人増加、前月より28人増加した。



業況判断DIの推移 「3ヶ月前と比較して」

回答全社(174社)の「3ヶ月前」と比べた業況判断DIは「好転」企業が27.0%、「横這」企業が53.4%、「悪化」企業が19.5%で同DIは7.5と、前回調査時の△39.3から46.8ポイントの改善となった。前回比で製造業は、「好転」企業が7.7%から25.0%へ増加し、「悪化」企業は46.9%から20.3%へ減少した。非製造業は「好転」企業が11.6%から32.6%へ増加し、「悪化」企業は51.2%から17.4%へ減少した。「好転」企業が増えるとともに、「悪化」企業が減少し、「横這」企業が増加する傾向となっている。長く低迷していた建設業の好転が全体を押し上げている。ただ、急激な円安による輸入資材コストの上昇を懸念する声は多くなっている。

産業別業況表

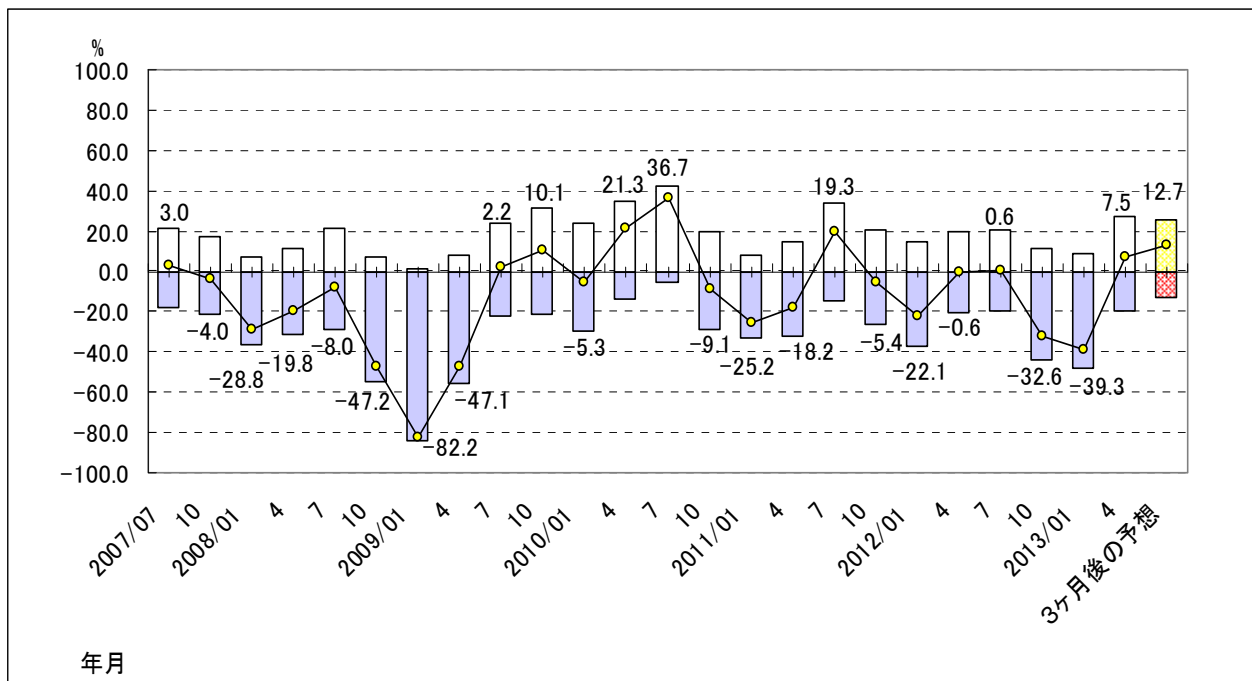
(企業数・%) 表-1

	3ヶ月前と比べて					前年同期と比べて					3ヶ月後の予想				
	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI
全体	174	27.0	53.4	19.5	7.5	174	20.7	42.5	36.8	-16.1	174	25.3	62.1	12.6	12.7
製造業	128	25.0	54.7	20.3	4.7	128	18.0	37.5	44.5	-26.5	128	20.3	65.6	14.1	6.2
非製造業	46	32.6	50.0	17.4	15.2	46	28.3	56.5	15.2	13.1	46	39.1	52.2	8.7	30.4
商業(大型店)	13	46.2	46.2	7.7	38.5	13	38.5	46.2	15.4	23.1	13	23.1	53.8	23.1	0.0
建設業	13	23.1	76.9	0.0	23.1	13	30.8	61.5	7.7	23.1	13	38.5	61.5	0.0	38.5
観光・サービス	20	30.0	35.0	35.0	-5.0	20	20.0	60.0	20.0	0.0	20	50.0	45.0	5.0	45.0

自社業況判断DIの推移

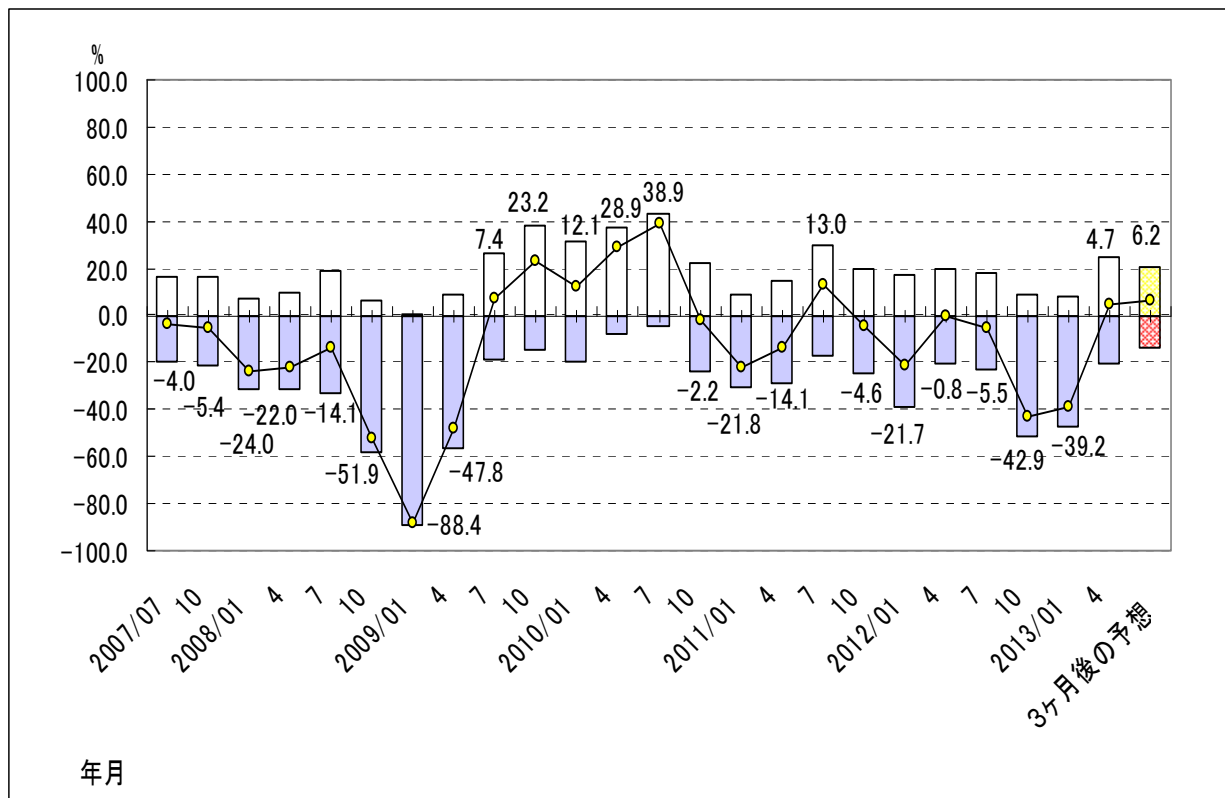
● 回答全社:「3ヶ月前」と比べた業況判断DIの推移

グラフ-1



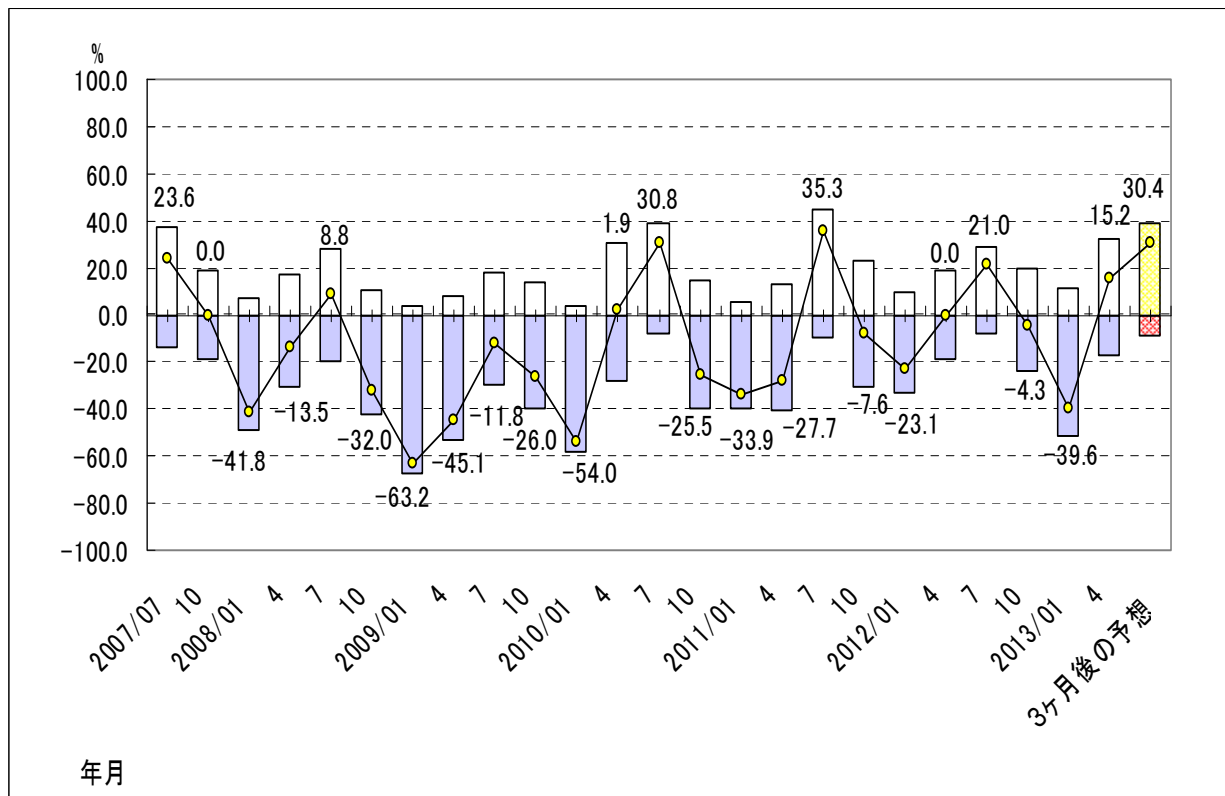
●製造業：「3ヶ月前」と比べた業況判断DIの推移

グラフー2



●非製造業：「3ヶ月前」と比べた業況判断DIの推移

グラフー3



産 業 別 景 気 動 向

1. 製造業

「3ヶ月前」と比べた業況判断DIは「好転」企業 25.0%、「悪化」企業 20.3%で同DIは 4.7 と、前回調査時の△39.2 から 43.9 ポイント改善した。「前年同期」と比べた業況判断DIは△26.5 で、前回調査時の△55.3 から 28.8 ポイント改善している。「3ヶ月後」の業況予想DIは 6.2 で、「好転」企業は前回の 23.8%から 20.3%へ減少したが、「悪化」企業も前回の 17.7%から 14.1%となり、前回調査時の 6.1 とほぼ同様となっている。

収益性DIは「3ヶ月前」との比較では△13.3と前回調査時の△40.8から改善しているが、「3ヶ月後」の収益性予想DIは△6.3で、前回(△3.8)より 2.5 ポイント悪化し、原材料高騰の懸念が出ている。

受注状況DIは「3ヶ月前」と比べて 3.1 と、前回調査時の△41.5 から 44.6 ポイントの大幅改善となった。「3ヶ月後」の受注予想DIも「好転」企業 26.6%、「悪化」企業 14.1%で同DIは 12.5 と、前回調査時の 6.1 から改善している。

規模別の「3ヶ月前」と比べた業況判断DIは、「1～29 人企業」は△7.5(前回△36.8)、「30～99 人企業」が 21.4(前回△53.6)、「100 人以上企業」は 10.0(前回△19.1)で全ての規模で改善している。前回全ての規模で大幅悪化した「前年同期比」でも改善している。「3ヶ月後」の予想DIは「1～29 人企業」が△3.0で前回の△7.4からマイナス幅が縮小し、「30～99 人企業」は 14.3 で前回の 22.0 よりやや悪化したが、「100 人以上企業」は 20.0(前回 19.0)となっている。

業種別(主要 5 業種)の「3ヶ月前」と比べた業況判断DIでは、いずれも前回より改善し、「金属製品」「電気機械」「精密機械」はプラスに転じた。前年同期比でプラスに転じた「精密機器」以外も水面下ながら、マイナス幅は縮小している。一方、「3ヶ月後」の業況予想DIは、「金属製品」と「電気機械」は前回より悪化したものの、全ての業種で「好転」が「悪化」を上回り、プラスとなっている。原材料高の懸念はあるものの、総体的には円安、株高の影響が徐々に広がっている。

製造業 業種別・規模別の自社業況表

表-2

	3ヶ月前と比べて					前年同期と比べて					3ヶ月後の予想					
	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI	
製造業	128	25.0	54.7	20.3	4.7	128	18.0	37.5	44.5	-26.5	128	20.3	65.6	14.1	6.2	
規 模	1～29人	66	16.7	59.1	24.2	-7.5	66	16.7	37.9	45.5	-28.8	66	16.7	63.6	19.7	-3.0
	30～99人	42	35.7	50.0	14.3	21.4	42	21.4	42.9	35.7	-14.3	42	23.8	66.7	9.5	14.3
	100人～	20	30.0	50.0	20.0	10.0	20	15.0	25.0	60.0	-45.0	20	25.0	70.0	5.0	20.0
中 分 類	金属製品 製造業	14	35.7	42.9	21.4	14.3	14	7.1	42.9	50.0	-42.9	14	14.3	78.6	7.1	7.2
	一般機械 器具製造業	32	18.8	56.3	25.0	-6.2	32	6.3	50.0	43.8	-37.5	32	21.9	59.4	18.8	3.1
	電気機械 器具製造業	24	33.3	45.8	20.8	12.5	24	29.2	25.0	45.8	-16.6	24	29.2	62.5	8.3	20.9
	輸送用機械 器具製造業	17	17.6	58.8	23.5	-5.9	17	23.5	17.6	58.8	-35.3	17	17.6	76.5	5.9	11.7
	精密機械 器具製造業	13	38.5	46.2	15.4	23.1	13	38.5	38.5	23.1	15.4	13	23.1	69.2	7.7	15.4

① 諏訪地方製造品出荷額の70%を占める中分類5業種の業況

● 金属製品(プレス、メッキ、熱処理など)

「3ヶ月前」と比べた業況判断DIは14.3で「好転」した企業が35.7%あり、前回調査時の△78.6から92.9ポイントの大幅改善となった。「前年同期比」の業況判断DIも△42.9で前回の△85.7から42.8ポイント改善した。また、「3ヶ月後」の業況予想DIは「横這」予想が増え7.2となっている。増産や新規受注に対応するための設備増設を計画する企業がある反面、コストダウン要請に苦慮する企業もある。

● 一般機械(工作機械、専用機械、省力機械、検査機械、半導体関連製造設備など)

「3ヶ月前」と比べた業況判断DIは△6.2で前回の△32.2から改善している。「前年同期比」の業況判断DIも△37.5(前回△51.6)だった。「3ヶ月後」の予想DIは「好転」企業21.9%、「悪化」企業18.8%で3.1と前回の△3.2から6.3ポイント改善している。受注量や引き合いが増えた企業と、依然低調な受注の企業があり、分野によって格差が見られる。

● 電気機械(家電、パソコン、情報機器、電子デバイス、デジタルカメラなど)

「3ヶ月前」と比べた業況判断DIは12.5と、前回調査時の△11.5から改善した。「前年同期比」でも前回の△50.0から△16.6と33.4ポイントの改善となっている。また、「3ヶ月後」の業況予想DIは20.9で、「好転」企業が29.2%、「悪化」企業は8.3%となった。

● 輸送用機械(自動車関連、ピストンリング、船外機、航空機部品など)

「3ヶ月前」と比べた業況判断DIは△5.9で、前回調査時の△62.5から56.6ポイント改善した。前回なかった「好転」企業が17.6%で、「悪化」企業が62.5%から23.5%になっている。「前年同期比」の業況判断DIは△35.3で前回の△56.3から21.0ポイント改善している。「3ヶ月後」の業況予想DIは「横這」が多いが、11.7とプラスになっている。回復傾向の企業の一方で、生産の海外シフトなどの影響を受けている企業もあり、受注先によって区々となっている。

● 精密機械(時計、カメラ、光学機器、計量器、医療機器など)

「3ヶ月前」と比べた業況判断DIは23.1で、前回調査時の△27.3から50.4ポイント改善している。「前年同期比」の業況判断DIでも15.4で前回の△18.2からプラスに転じた。「3ヶ月後」の業況予想DIは15.4で、「好転」企業が23.1%で、「悪化」企業7.7%を上回っている。光学、カメラ関連の受注は減少傾向が続く。医療機器関連は堅調に推移している。

② 規模別業況

「3ヶ月前」と比べた業況判断DIは、「1～29人」規模が△7.5、「30～99人」規模が21.4、「100人以上」規模が10.0だった。「前年同期比」は「1～29人」規模が△28.8、「30～99人」規模が△14.3、「100人以上」規模が△45.0だった。「3ヶ月後」の業況予想DIは、「1～29人」規模は△3.0、「30～99人」規模が14.3、「100人以上」規模は20.0となっている。

③受注状況DI(規模別、業種別)

製造業全社の「3ヶ月前」と比べた受注状況は「増加」企業 30.5%、「減少」企業 24.1%で同DIは 6.4と、前回調査時の△41.5 から改善している。「前年同期比」では前回の△57.7 から△22.7 と改善した。「3ヶ月後」の受注予想DIは 12.7 で「増加」企業 26.2%、「減少」企業 13.5%と、前回の 6.1 からさらに改善している。

規模別の受注状況DIは、「3ヶ月前」と比べて「1～29人企業」は△6.1で、前回調査時の△36.8から改善した。「30～99人」企業は 14.3と前回の△53.7から大幅改善した。「100人以上」も 10.0で前回調査時の△33.3からプラスに転じている。また、「前年同期比」の同DIでは「1～29人」が△25.7で前回の△61.8から改善し、「30～99人」も△21.5と前回の△53.6から改善した。「100人以上」でも△45.0と前回の△52.4からやや改善している。一方、「3ヶ月後」の受注予想では「1～29人企業」は△1.5で減少予想企業が上回るものの、前回の△10.3から改善した。「30～99人」は 23.8、「100人以上」も 35.0と、増加予想が上回っている。

業種別(主要5業種)では、「3ヶ月前」と比べた受注状況DIは、「金属製品」は△50.0から 21.5と大幅改善し、「一般機械」は前回の△41.9から 6.2、「電気機械」は△15.4から 12.5へ改善した。「精密機械」は△27.3から△7.7、「輸送用機械」は△56.3から△17.7と、それぞれマイナス幅が縮小した。

「前年同期比」のDIでは、「金属製品」は△85.7から△42.9、「一般機械」が△61.2から△31.2、「電気機械」は△46.1から△20.8、「輸送用機械」が△62.5から△41.2、「精密機械」は△27.3から 7.7へとそれぞれ改善した。

「3ヶ月後」の予想DIは「金属製品」は前回の 28.6から 14.3に悪化した、「電気機械」が 23.1から 29.2、「一般機械」が 3.2から 6.2、「輸送用機械」は 0.0から 17.6、「精密機械」も 0.0から 38.5と、多くの業種で増加を予想する企業が増えている。

業種別・規模別受注状況表

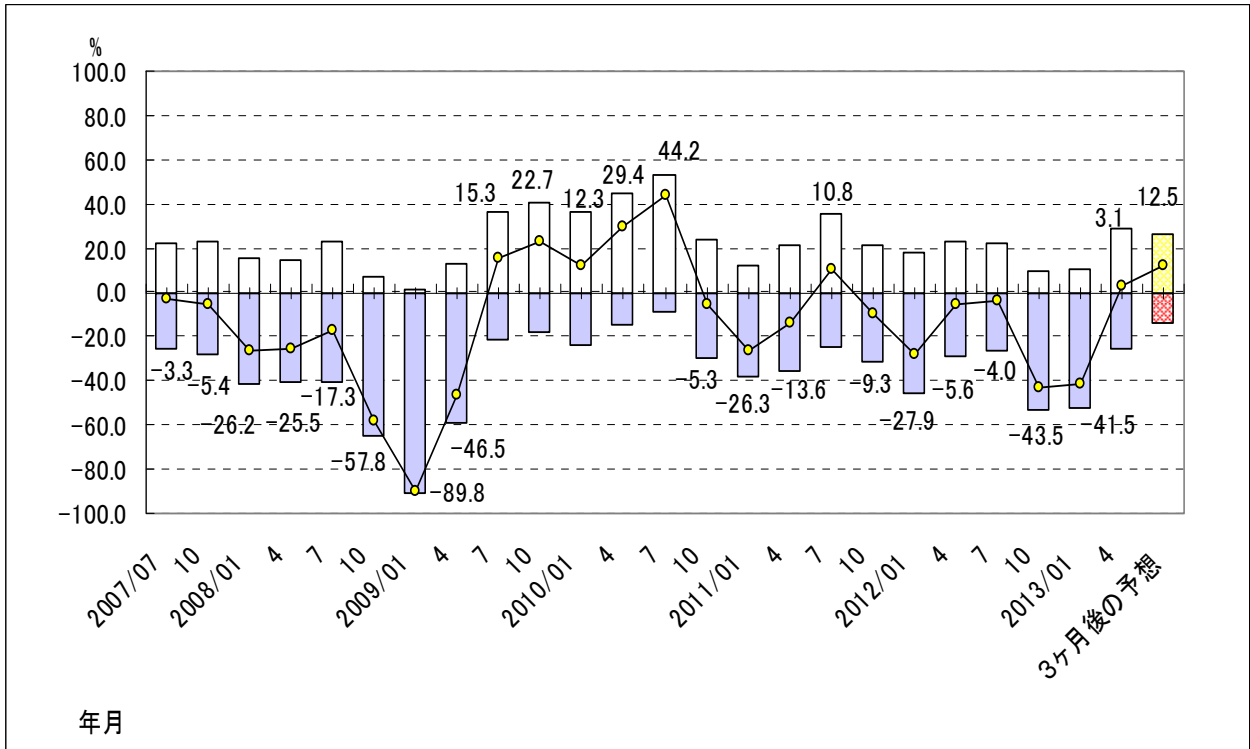
表-3

	3ヶ月前と比べて					前年同期と比べて					3ヶ月後の予想					
	回答企業	増加	不変	減少	DI	回答企業	増加	不変	減少	DI	回答企業	増加	不変	減少	DI	
製造業	128	28.9	45.3	25.8	3.1	128	17.2	38.3	44.5	-27.3	128	26.6	59.4	14.1	12.5	
規模	1～29人	66	24.2	45.5	30.3	-6.1	66	18.2	37.9	43.9	-25.7	66	19.7	59.1	21.2	-1.5
	30～99人	42	35.7	42.9	21.4	14.3	42	19.0	40.5	40.5	-21.5	42	33.3	57.1	9.5	23.8
	100人～	20	30.0	50.0	20.0	10.0	20	10.0	35.0	55.0	-45.0	20	35.0	65.0	0.0	35.0
分類	金属製品製造業	14	42.9	35.7	21.4	21.5	14	7.1	42.9	50.0	-42.9	14	21.4	71.4	7.1	14.3
	一般機械器具製造業	32	28.1	50.0	21.9	6.2	32	9.4	50.0	40.6	-31.2	32	25.0	56.3	18.8	6.2
	電気機械器具製造業	24	33.3	45.8	20.8	12.5	24	16.7	45.8	37.5	-20.8	24	37.5	54.2	8.3	29.2
	輸送用機械器具製造業	17	17.6	47.1	35.3	-17.7	17	23.5	11.8	64.7	-41.2	17	23.5	70.6	5.9	17.6
	精密機械器具製造業	13	30.8	30.8	38.5	-7.7	13	38.5	30.8	30.8	7.7	13	46.2	46.2	7.7	38.5

製造業の受注状況DIの推移

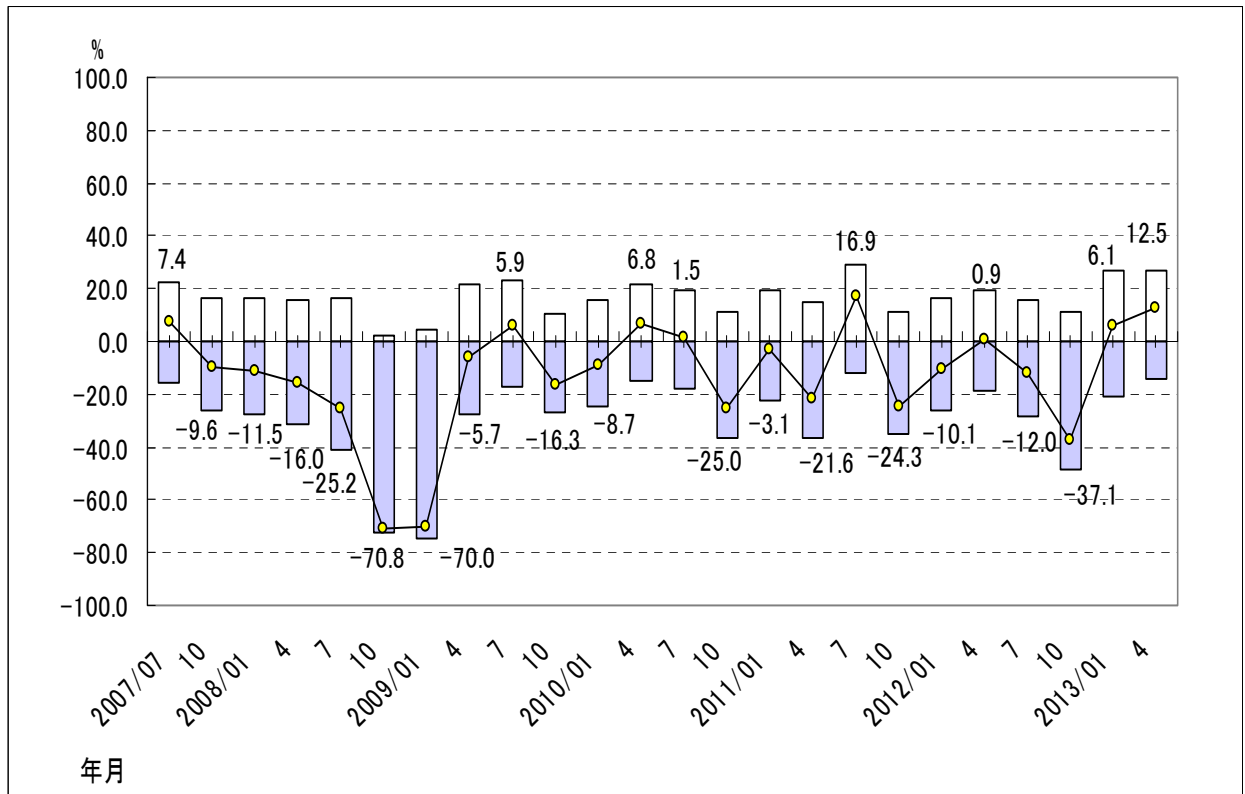
●製造業全社:「3ヶ月前」と比べた受注状況DIの推移

グラフー4



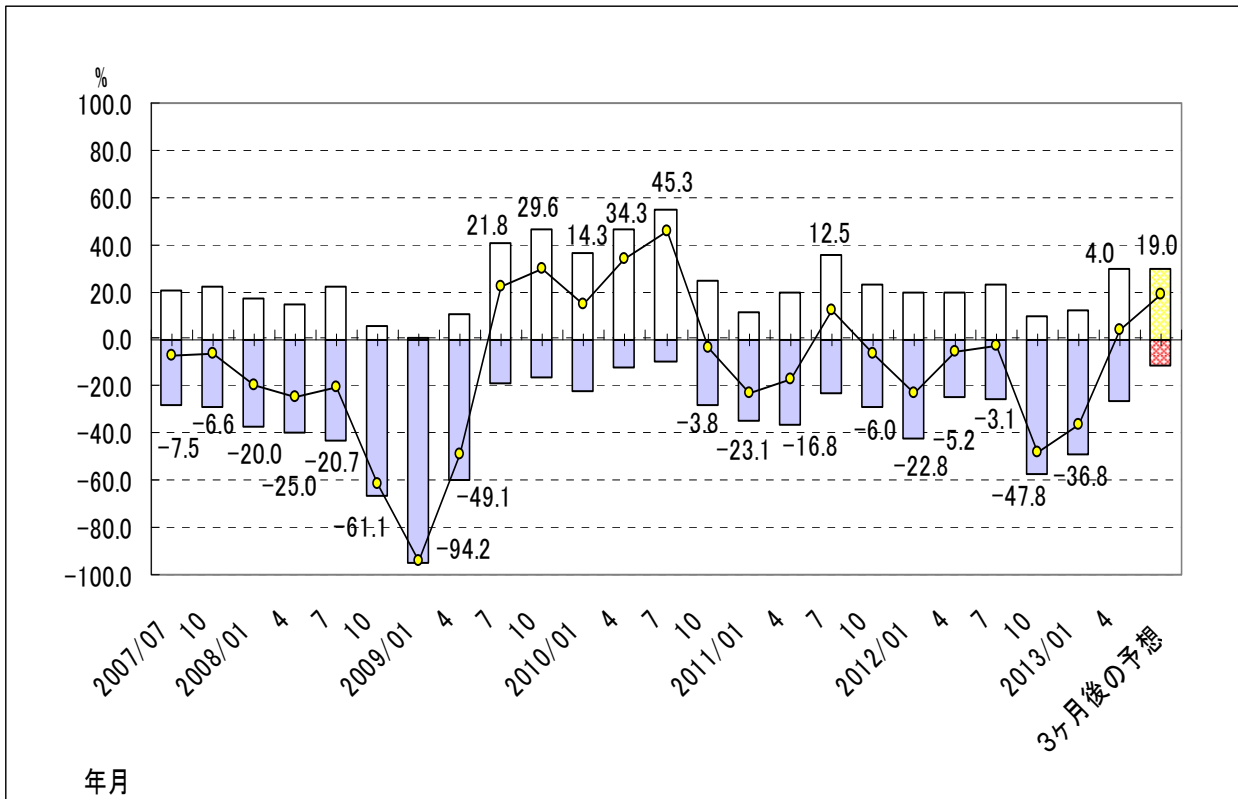
●製造業全社:「3ヶ月後」の受注予想DIの推移

グラフー5



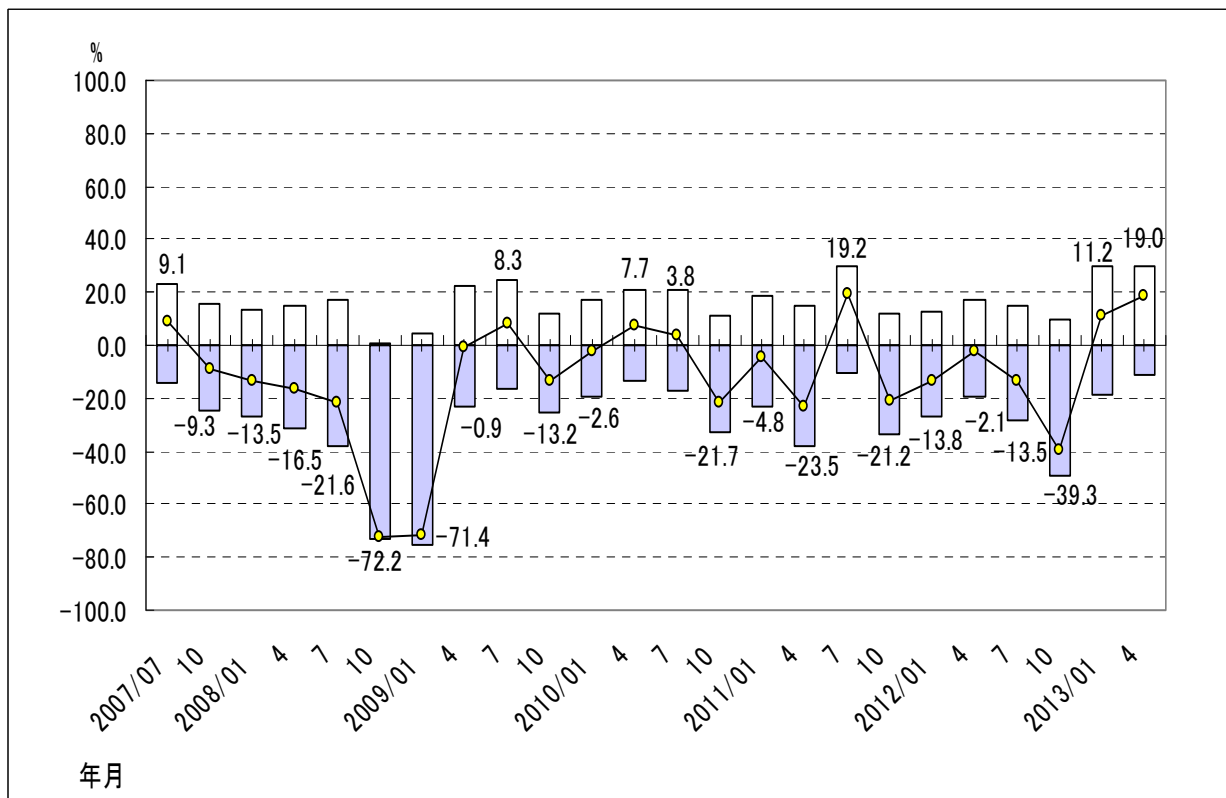
●製造業 主要5業種:「3ヶ月前」と比べた受注状況DIの推移

グラフー6



●製造業 主要5業種:「3ヶ月後」の受注予想DIの推移

グラフー7



2.商業・観光サービス業

①商業

諏訪地方の4月の天候は、過去最速で桜の開花宣言がある一方で季節はずれの降雪や強風があり、寒暖の差が激しかった。「3ヶ月前」と比べた業況判断DIは38.5、来店客数DIは15.4、収益性DIは30.8とプラスに転じている、客単価DIは0.0で前回と同様だった。「前年同期比」の業況判断DIは23.1で前回の△21.4から改善した。「3ヶ月後」の業況判断DIは「好転」と「悪化」予想企業が同率で0.0となっている。「顧客の動きから景気回復の実感はなく、収益好転は人件費改善によるもの」という小売店の声もある。

- 食料品 生鮮は肉、魚類が堅調で、青果関連は売上減少傾向。飲料関連はほぼ横ばい。
- 衣料品 降雪や低温の影響で春、初夏物の売上が伸びなかった。
- 自動車 4月の車庫証明件数(軽自動車除く)は、エコカー補助金効果があった前年同期比で微減にとどまり、年度末で例年増加する3月比でも前年同月より減少幅が小さかった。
- 家電店 パソコンは買い換え需要があり比較的好調。カメラの売れ行きは鈍い。
- ホームセンター 園芸や花見用品は前半好調だったが、後半は降雪の影響を受け振るわなかった。

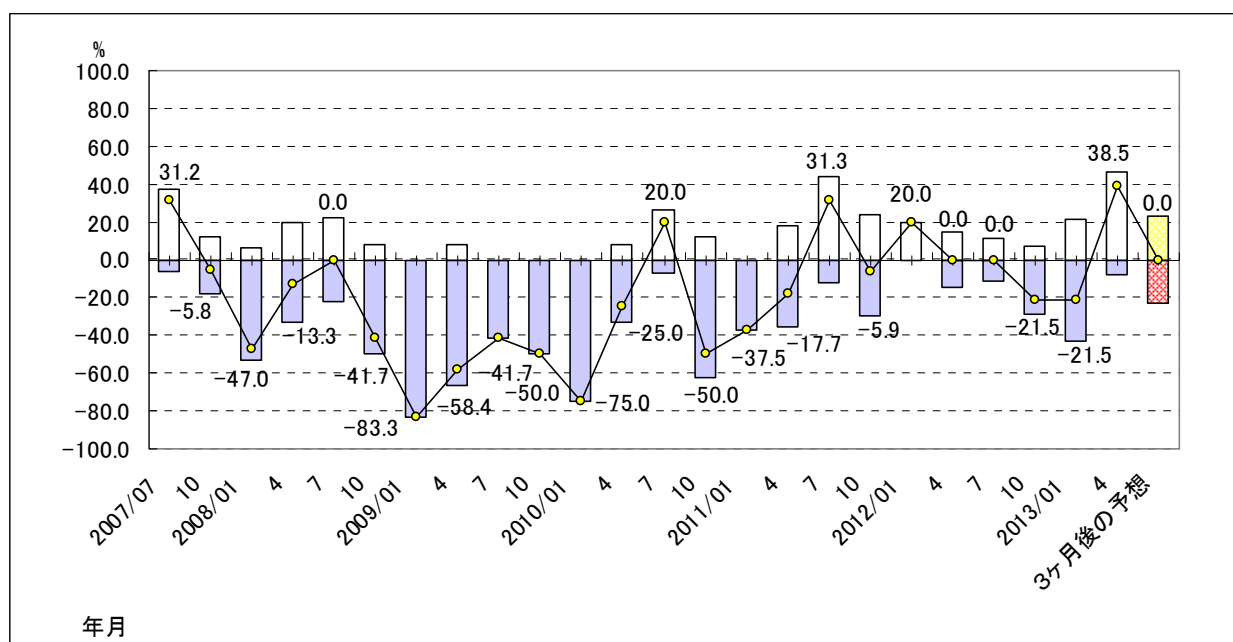
業況、客単価、来店客数

表-4

	3ヶ月前と比べて					前年同期と比べて					3ヶ月後の予想				
	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI
業況	13	46.2	46.2	7.7	38.5	13	38.5	46.2	15.4	23.1	13	23.1	53.8	23.1	0.0
客単価	13	7.7	84.6	7.7	0.0	13	0.0	84.6	15.4	-15.4	13	0.0	100.0	0.0	0.0
来店客数	13	30.8	53.8	15.4	15.4	13	38.5	46.2	15.4	23.1	13	15.4	69.2	15.4	0.0

●商業全社:「3ヶ月前」と比べた業況判断DIの推移

グラフ-8



②観光・サービス業

「前年同期比」の業況判断DIは 0.0 で、前回調査時の△29.5 から改善した。客単価DIは△15.0 で前回の△23.5 から改善し、宿泊客数DIも 20.0 で前回の△29.4 から改善している。高原の観光地は端境期で低調だったが、観光シーズンに向けて、都会では得られない高原ならではのロケーションを生かして施設をリニューアルするなどの取り組みがあり、観光客の土産購入意欲が若干良くなった感触を持つ施設もある。「3ヶ月後」の宿泊客数予想DIは 50.0、業況予想DIが 45.0、客単価予想DIは 20.0 となっている。

- 上諏訪温泉 桜の開花が当初予想より早かったため、キャンセルがあった。全体的に個人客の予約に活気が出てきている。
- 蓼科・白樺湖・車山方面ほか 総体的に4月は例年低調で施設によって業況は区々。霧ヶ峰では花期を前にした山火事の影響で一部予約のキャンセルが出ている。
- 諏訪大社 上社・下社合わせた4月の参拝者数は約49千人と、前年同月比約4千人の減少(△7.4%)となった。

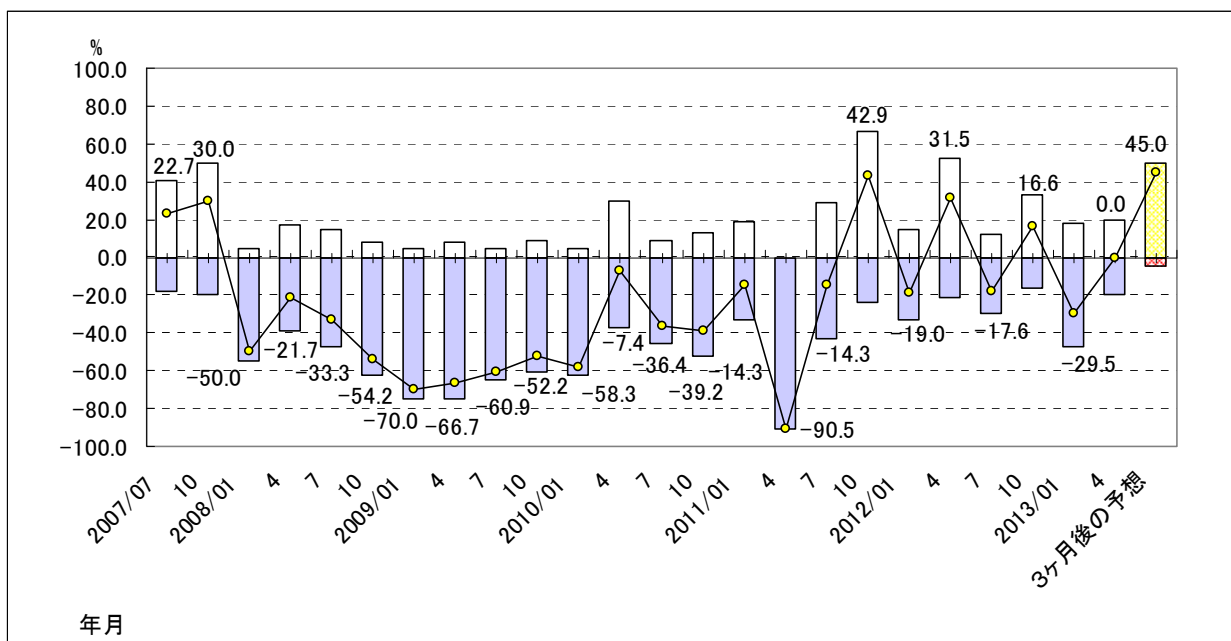
業況、売上、宿泊客

表-5

	3ヶ月前と比べて					前年同期と比べて					3ヶ月後の予想				
	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI
業況	20	30.0	35.0	35.0	-5.0	20	20.0	60.0	20.0	0.0	20	50.0	45.0	5.0	45.0
客単価	20	15.0	50.0	35.0	-20.0	20	15.0	55.0	30.0	-15.0	20	20.0	80.0	0.0	20.0
宿泊客数	20	40.0	20.0	40.0	0.0	20	40.0	40.0	20.0	20.0	20	55.0	40.0	5.0	50.0

●観光・サービス業全社:「前年同期」と比べた業況判断DIの推移

グラフ-9



3.建設業

業況判断DIは「3ヶ月前」と比べて、「横這」企業が76.9%と多いが「悪化」企業がなく、同DIは23.1となった。「前年同期比」も23.1で前回(△33.4)から改善した。「3ヶ月後」は、「横這」企業が61.5%で業況判断DIは38.5となっている。受注状況と外注発注量のDIもともに15.4だが、収益性予想DIは△7.7とマイナス予想が上回っている。円安のマイナス面の影響で、原材料高の値上がりを懸念する声がある。

●建築工事

諏訪地方の平成24年度の各市町村の新設住宅累計着工戸数は岡谷市196戸、諏訪市299戸、茅野市375戸、諏訪郡224戸となった。前年同期累計比では62戸の増加(6.0%)で、県全体の伸び率(3.5%)より大きく、2年連続で増加した。なお、長野県全体の平成25年3月の新設住宅着工戸数は839戸で前年同月比14.3%増加した。

●公共工事

4月に地元業者が受注した国県関係の公共工事は、防災・安全交付金などで諏訪建設事務所19件784百万円、長野国道事務所等国関係1件99百万円だった。市町村は建築工事5件259百万円、土木及び下水道工事50件323百万円、その他工事6件50百万円だった。

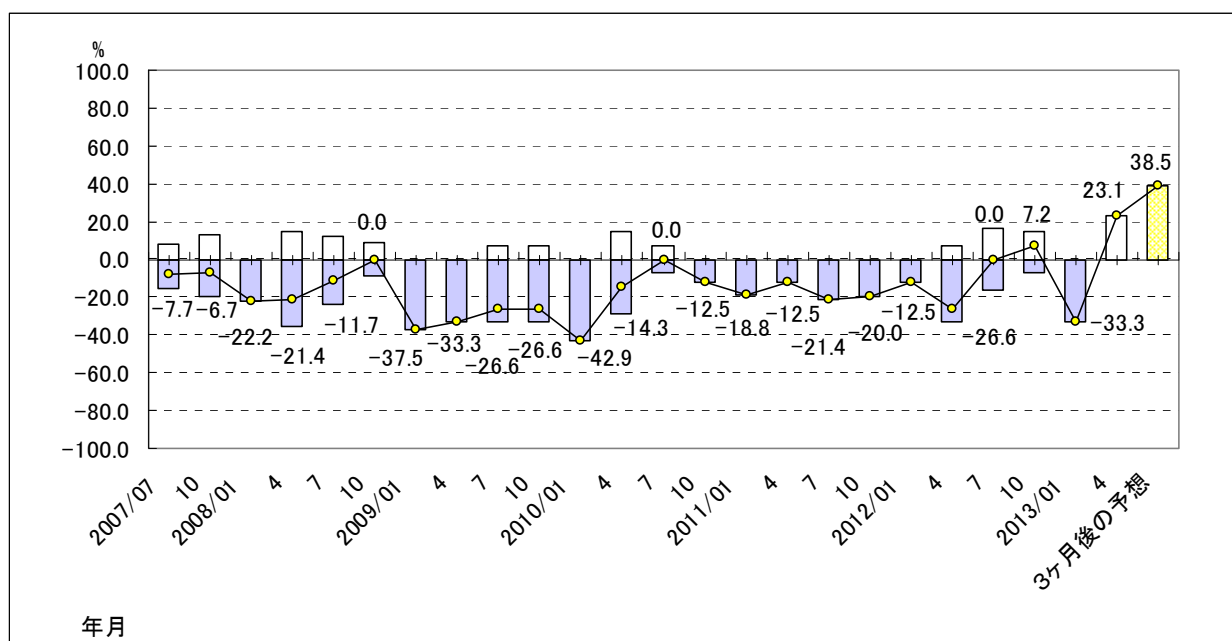
業況、受注状況、外注発注量

表-6

	3ヶ月前と比べて					前年同期と比べて					3ヶ月後の予想				
	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI
業況	13	23.1	76.9	0.0	23.1	13	30.8	61.5	7.7	23.1	13	38.5	61.5	0.0	38.5
受注状況	13	46.2	46.2	7.7	38.5	13	30.8	61.5	7.7	23.1	13	23.1	69.2	7.7	15.4
外注発注量	13	23.1	69.2	7.7	15.4	13	30.8	53.8	15.4	15.4	13	30.8	53.8	15.4	15.4

●建設業全社:「3ヶ月前」と比べた業況判断DIの推移

グラフ-10



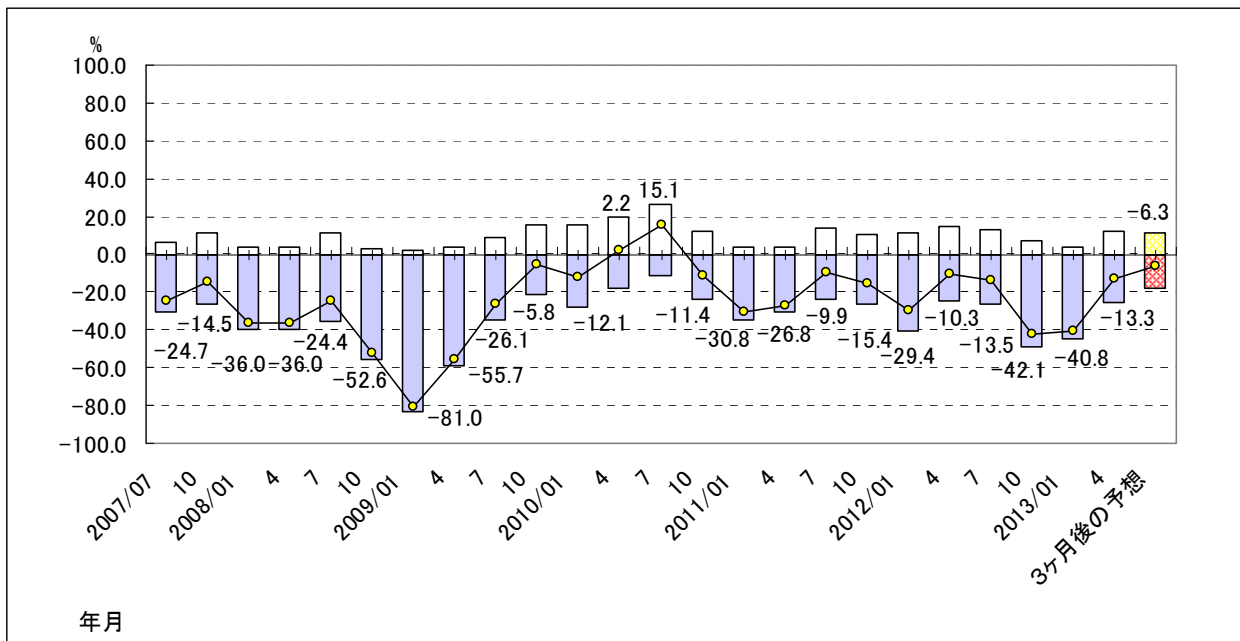
4.収益性状況

回答全社の「3ヶ月前」と比べた収益性は「好転」企業 13.8%、「悪化」企業 23.6%で、同DIは△9.8と前回調査時の△39.9から改善した。製造業の「3ヶ月前」と比べた収益性は「好転」企業 12.5%、「悪化」企業 25.8%で同DIは△13.3と前回調査時の△40.8から 27.5ポイント改善した。しかし、「3ヶ月後」の収益性予想DIは△6.3で、前回調査時の△3.8から悪化し、収益性に懸念を持つ企業が多くなっている。

非製造業の「3ヶ月前」と比べた同DIは 0.0 と、前回調査時の△37.2から改善した。「3ヶ月後」のDIは 10.9 と、観光業などで好転を見込む企業が増えている。

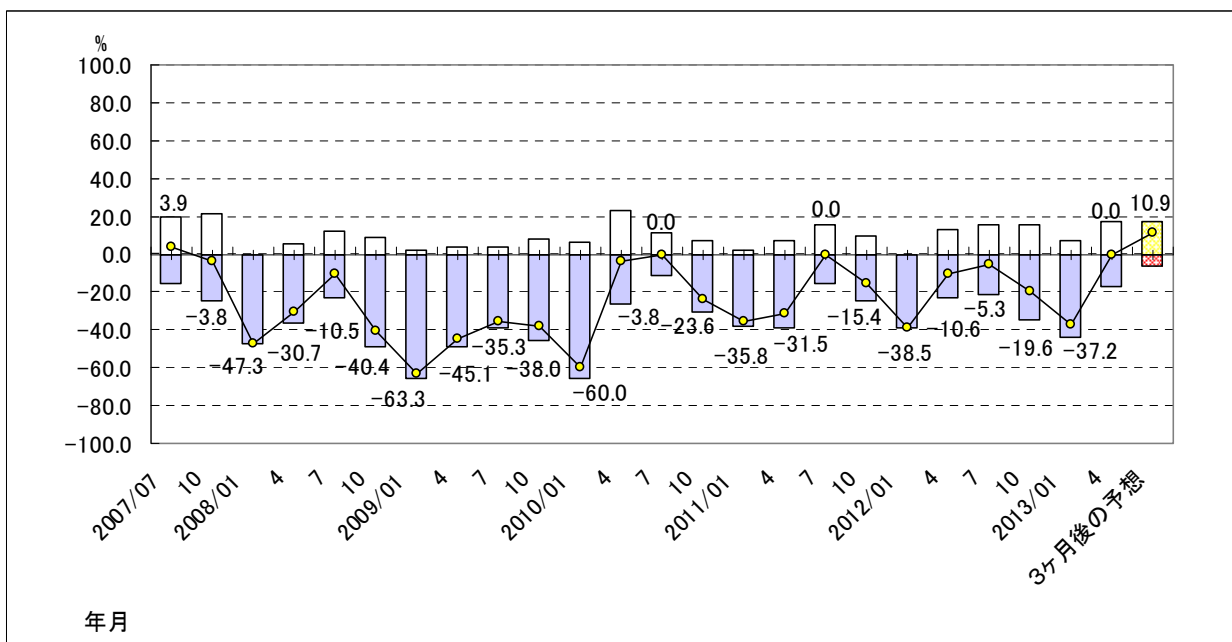
●製造業:3ヶ月前と比べた収益性DI

グラフー11



●非製造業:3ヶ月前と比べた収益性DI

グラフー12



5.経営上の課題

経営上の課題として①製造業は売上減少、競争激化、資金繰りをあげる企業が多く、②商業は競争激化、売上減少③建設業は競争激化、売上減少④観光・サービス業は売上減少、資金繰りなどがあげられている。

経営上の課題	合計	製造業	商業	建設業	観光・サービス業
売上減少	83	67	4	4	8
単価引下げ	37	30	2	0	5
競争激化	55	36	7	6	6
資金繰り	41	32	1	1	7
人件費	29	19	3	2	5
労働力確保	17	11	3	1	2

6.諏訪地方主要経済指標

主要指標		実数	前年同期比	
有効求人倍率【3月】	ハローワーク諏訪	0.74倍	△0.09ポイント	
手形交換高【4月】 (諏訪手形交換所扱)	枚数	7,926枚	1,131枚	
	金額	12,669百万円	1,192百万円	
	うち不渡り発生状況	枚数	3枚	1枚
	金額	3,105千円	1,057千円	
電力使用量【4月】 (中電諏訪営業所管内)	電灯電力計	53,720 MWh	△17.9%	
	高压電力計	90,575 MWh	△4.4%	
	合計	144,295 MWh	△9.9%	
車庫証明取扱件数【4月】(諏訪地方合計)		895件	△1.9%	
新設住宅着工戸数【H24. 4~25. 3】(諏訪管内)		1,094戸	6.0%	

7.調査概要

DI調査:業況が「好転」と答えた企業割合から「悪化」と答えた企業割合を引いた数値

- ①調査期間 平成25年4月末
- ②調査内容 「平成25年4月末」の実績と、「3ヶ月前」と「前年同期」の業績比較及び「3ヶ月後」の予想
- ③調査方法 アンケート調査(回答数 下記⑦)及びヒアリング調査(約130社)
- ④対象地域 諏訪地域全域
- ⑤業種 製造業、商業(大型店:売り場面積501㎡以上)、建設業、観光・サービス業
- ⑥回答企業数 174企業
- ⑦回答率 65.2%

	製造業	商業	建設業	観光・サービス業	合計
依頼数	200	20	20	27	267
回答数	128	13	13	20	174